



チャレンジ!

仕上げの3学期「ワンチーム」となってがんばろう!

酷寒の中、3学期がスタートしました。始業式では、学校教育目標の中の「仲間とともに」という言葉を取り上げ、「チーム」と「グループ」の話をしました。それぞれの学級が、ただ集まっている「グループ」ではなく、一つの目標を共有し、役割分担しコミュニケーションをとりながらみんなでその目標に向かっていく「チーム」になってほしい、と伝えました。3学期は、次の学年に向けての学期、いわば「0学期」です。学級の仲間とともに、「ワンチーム」となってぐんと成長してほしいと思います。

自分たちで育てたパンジーで卒業式・入学式に花を添えようと、苗を植えました。各学級3～4個のプランターを、責任をもってお世話していきます。



書き初めにチャレンジ!

大畑小では、年の初めにふさわしい書き初めに、全児童がチャレンジしました。わくわくサポーターの西田先生においでいただき、一つ一つご指導いただいた学年もあり、なかなかの力作が出来上がっています。代表者の作品を、石野公園で行われている人吉市内小中学校書写展(～2/2)に出品していますので、ぜひご観覧ください。



昔遊びにチャレンジ!

1年生は、老人クラブの皆さんと昔遊びにチャレンジしました。熱心に教えていただいて、自分たちだけでは難しくてできなかっためんこ返しやこま回し、お手玉など、できるようになって大興奮でした。よほど楽しかったらしく、いろいろな人に「ほら!」として見せてくれて、大盛り上りの1年生でした。



複式学級って何?②

複式学級において行われる代表的な指導の工夫が「ずらし」と「わたり」です。一方の学年を直接指導している間、もう一方の学年は自分たちで自主的に学習を進めさせます(間接指導といいます)。間接指導の際には、学習集団の中から「ガイド」役の児童を決め、そのガイドが学習進行計画にそって学習を進めるのが一般的です。最初のうちは、教師が作成したガイド(シナリオのようなもの)を使って授業を進行しますが、経験を積むとガイドなしでも進行できるようになっていきます。すでに1・2年生は複式指導を少しずつ導入し、経験を積んでいるところです。